



北川 元気議員
企画総務消防常任委員会

Q 議員からのカスタマーハラスメントは

A 無理な要求を受けた件数45件



その他の質問

- ・地方公務員の守秘義務について
- ・彦根市長公式YouTubeチャンネルひこねしちよーCHについて

Q カスタマーハラスメント職員アンケート結果の概要は。

A 令和4年10月に医療職を除く全職員を対象として匿名形式で実施し、同年12月20日にこの概要を公表。回答数695人。回答率52%。このうち概ね過去5年間においてカスハラを受けた経験があると答えた職員の回答率は、54%と過半数を超えている。

Q 関係者からのカスハラは。

A 議員からの無理な要求を受けた回答があった件数45件。

Q 議員からのカスタマーハラスメントは。

A 特定の市議会議員から職員に対し、特定の職員の人事配置を要求された事案。行き過ぎと思われる発言を伴って要望された事案。長時間同じ要求を繰り返されたことにより職務の遂行に支障をきたした事案などがあつた。



中川 睦子議員
市民産業建設常任委員会

Q 学校給食で出る生ごみも減らす努力と必要性を伝えるべきでは

A 「使い切り」「食べきり」「水切り」が大切で対策をしている



その他の質問

- ・生活困窮者自立支援事業と生活保護制度は相談者の希望に沿えるか
- ・市の「加齢性難聴の補聴器」支援を

Q 小学校給食での残食と処理は。

A 廃棄率は1日平均5.9%で、学校から排出される他の可燃ごみと合せて廃棄。

Q 学校の生ごみの処理も「3キリ」の努力と必要性を伝え実施すべきでは。

A 「使いキリ」は、食材の厳密発注、切り方等の注意。「食べキリ」は調理の工夫や栄養ある食事の大切さを教え残食を減らす。「水キリ」は野菜くずや残食をできるだけ水切りして排出量を減らす。このことを推進していく必要性があり、調理委託業者、子どもや保護者の協力と周知していくことが大切。

Q 生ごみ処理機の活用で畑や花壇での堆肥化を実現すべきでは。

A 大型処理機は場所、業務負担、維持管理費用が課題。現在、城陽小学校のみバイオ方式の処理を行っているが量が多く難しいと聞いている。



▲給食の生ごみも廃棄からリサイクルへ
(仙台市ホームページ)



小川 吉則議員
福祉病院教育常任委員会

Q コロナ禍での通所介護事業所等への支援は

A 利用者の送迎等車両の燃料費用に対して給付を実施



その他の質問

- ・ペット問題について
- ・令和5年度一般会計当初予算案について
- ・井伊直弼公茶の湯条例案について

Q コロナ禍での通所介護事業所等への支援は、どうなっているか。

A 利用者の送迎等に使用する車両の燃料費用に対して、今年度1年間の燃料費として、車両1台当たり12,000円の給付を行った。

Q 物価高やエネルギー高騰の中、追加の支援は考えていないのか。

A 現在のところ、給付金等の追加支援は予定していないが、今後も世界的な物価高の情勢や経済状況の把握に努め、国や県、他市町の動向にも注視していく。

Q 緊急時に低利での融資制度は考えられないか。

A 資金融資制度については、現在、独立行政法人福祉医療機構が「福祉貸付事業」を実施しており、令和4年11月7日には優遇融資を実施するメニューが新たに追加された。本市独自の資金融資制度は、実施する予定はない。



▲市内事業所の送迎用リフトバス



野村 博雄議員
福祉病院教育常任委員会

Q 積雪時、鉄道の踏切や道路の除雪、市民の声への対応は

A 関係者との連携や除雪体制の強化、市民の声への対応を図っていく



その他の質問

- ・障害者も安心して心豊かに暮らせる街への取組は
- ・自由通路の維持管理は
- ・通学路等の危険箇所への対応は
- ・河瀬公園の整備は

Q 積雪時、鉄道の踏切は雪でかなり凸凹になり通行に危険を感じるが今後の対策は。

A 今後踏切の管理者であるJR西日本や近江鉄道と連携を図るため、来季の雪害対策期間までに協議を進める。

Q 今冬の積雪時、市立病院への救急搬送や市民生活への悪影響を十分低減するだけの除雪対応はできたか。

A 今季から市立病院前の市道を1社が専属的に担い、また業者や除雪車両も増やして除雪体制の強化を図り、大きな通行障害は生じておらず除雪対応はできたと考える。

Q 除雪が上手くできていないとの声を聞く事もあるが、除雪技術の向上や均質化は。

A 市民からの声を頂いたら必要に応じ再度除雪を依頼するとともに、契約車両の状況にあわせ路線の割り当てや機械の配置について検討していく。



▲除雪車両による作業の様子

議会運営委員会による先進地視察報告

1 1月24日(火) 埼玉県久喜市「通年議会・日曜議会等について」

久喜市では、令和4年5月から通年議会を実施しています。緊急時等の突発的な課題に、議会が機動的に対応できることや、議会の権限が強化されるというメリットがある一方で、事務量の増加や日程調整などのデメリットもあるとのことでした。当市議会でも、今後検討を進める必要があり、大変参考になる視察となりました。



2 1月25日(水) 埼玉県戸田市「委員会の年間活動テーマ設定と運用等について」



戸田市では、平成21年から委員会の年間活動テーマを設定して活動しておられました。それにより、各委員会が能動的に活動をするようになり、活発化したとお話いただきました。その他、令和4年11月からはオンラインで中学生との意見交換会を開催され、中学生から市や議員への思い等、率直な意見を引き出しておられ、当市を支える若者から見た彦根市はどう見えているのか、どうしたいのかを教えてもらうことが重要だと改めて感じました。

議員研修会を実施しました

議員人権研修会

○令和4年12月26日(月)
午後1時30分～午後3時

彦根市議会では、市民の代表としてより研ぎ澄まされた人権感覚を養うため、年に1回議員人権研修を実施しています。

今回は、京都精華大学 国際文化学部長 山田 創平 教授を講師にお迎えし、「LGBTを考える～多様性への理解を深める～」をテーマにご講演いただきました。



LGBTの基本的な考えをはじめ、本市でも実施しているパートナーシップ宣誓制度についてもお話いただき、私たち議員から発信できることがあることも改めて認識できました。